

四天王寺学園高等学校 ICT 授業公開研究交流会  
理科分科会

実験に対して、安全教育も含めた補助的な役割を果たしている。  
結果の共有と振り返りが可能になり、時間短縮にも貢献している。

デジタル教科書ではすべて映像化されているが、どのレベルまで紙ベースが残っていくのか？

21 世紀型教育を考えれば、あえて紙ベースも残すこともしている。

ポートフォリオが重要になってくるが、データベース化と紙データの共存が望ましい  
紙ベースでしか味わえない質感や立体感がある。

ペーパーレス化と学習効果は別のものではないのか？

子どもの記憶との関連性を重視。  
より印象に残るような周辺情報を巻き込むことで、記憶の定着に貢献できる。  
この部分について便利と思える部分を ICT で活用すればいい。

提出物の返却が著しく速くなる。

今や写真はデジタルデータが当たり前になった。  
写真のデジタルデータが自由自在に扱うことができれば、手書きノートは不要となるはず。

生徒の「そうだったのか」がおおく生まれることから、主体的な学習が確保できる。

生徒の課題に対して、その場指導、その場修正が可能となる。

iPad を導入した経緯、理由を伺いたい。

Windows はアップデートなどに時間がかかりすぎる。  
アンドロイドは os のバージョンアップに端末が対応していかない。  
iPad ではアプリを apple 社が管理しているので安心

来場者に iPhone の使用を自粛してもらおう学校もある。  
理由は、学内アクセスポイントに接続してしまう結果、生徒のデータのやりとりが困難になるため。

生徒の飲み込みが速いことに驚かされる。

とにかくいろいろな機能を知っているし、見つけてくる。(教員が逆に教えてもらうこともある。)  
アクティブラーニングの導入に際し、双方向授業を可能にするツールとして使える。

中学校への iPad の導入は？

今のところは、随時使用の形で、1 班に 1 台の使用で運用している。